



# 第8章 食育推進の重点項目及び評価指標



基本目標	視点	重点項目	評価指標	現状値	年度	目標値
『明るく元気で生きたいわ』  『伝えたい味 食べてけさいん』	食習慣と健康	食を通じたコミュニケーションを図る	一人で食べる子どもの割合（小学5年生）	朝食15.0% 夕食1.3%	h25	朝食7.0%以下 夕食1.0%以下
			一人で食べる子どもの割合（中学2年生）	朝食37.2% 夕食7.7%	h25	朝食30.0%以下 夕食5.0%以下
		規則正しい生活リズムを整える	朝食を欠食する子どもの割合（小学5年生）	6.9%	h25	2%以下
			朝食を欠食する子どもの割合（中学2年生）	20.5%	h25	2%以下
			朝食を毎日食べる人の割合 30歳代男性	77.6%	h23	80%以上
			朝食を毎日食べる人の割合 30歳代女性	72.2%	h23	80%以上
			朝食を欠食する人の割合（30代～60代）	16.2%	h23	10%以下
		肥満を予防し生涯を通じて適正体重の維持	成人の肥満者の割合 40～64歳（男性）	38.2%	h23	30%以下
			40～64歳（女性）	22.7%	h23	20%以下
			子どもの肥満の割合 3歳児（カウプ18～）	2.6%	h24	1.5%以下
			小学5年生（男子）	12.2%	h25	10.0%以下
			小学5年生（女子）	6.2%	h25	5.0%以下
			中学2年生	16.6%	h25	12.0%以下
			メタボリックシンドローム該当者の割合 40～74歳	21.8%	h23	16.0%以下
			メタボリックシンドローム予備群の割合 40～74歳	9.5%	h23	7.0%以下
			早食いの人の割合が減る（40歳～74歳）	男性 23.4% 女性 22.4%	h24	男性 20.0% 女性 15.0%
			ライフステージにおける望ましい食習慣や知識を習得した健康づくり	食事の量は適量（腹八分目）をこころがけている人の割合 30～60歳代	73.1%	h23
		塩分の多いものはできるだけ控えている人の割合 30～60歳代		75.9%	h23	80%以上
		塩分の多いものはできるだけ控えている人の割合 40歳代		71.8%	h23	80%以上
		塩分の多いものはできるだけ控えている人の割合 50歳代		80.2%	h23	90%以上
		一日あたり野菜を350g以上とる必要性があることを知っている人の割合		男性 44.6% 女性 64.3%	h23	男性 60%以上 女性 75%以上
		栄養バランスのすぐれた日本型食生活の実践	主食・主菜・副菜をそろえて食べるようにしている人の割合 30～60歳代	79.6%	h23	80%以上
			毎食、野菜を欠かさない人の割合 30～60歳代	33.3%	h23	50%以上
			食品を購入するときに栄養成分表を参考にしている人の割合	41.2%	h23	50%以上
		口腔衛生の向上	3歳児の一人平均虫歯の本数	1.13本	h23	0.7本以下
			12歳児の一人平均虫歯の本数	0.70本	h24	1本以下
			『8020賞』で表彰される人が毎年いる累計	67人	h23	100人
食の由来と食文化の継承	生涯をととして食文化にふれる郷土料理の継承	郷土料理の本「伝えたい大和の味」の販売冊数	2076冊	h24	2,500冊	
		郷土料理講習会への参加者数	762名	h24	累計1,500名	



基本目標	視点	重点項目	評価指標	現状値	年度	目標値
『明るく元気で生きたいわ』 『伝えたい味 食べてけさいん』	自然への恩恵等の感謝、環境の調和	体験をととして食を大切に する心を育む	教育ファームに取り組む小中学校の割合	77.8%	h23	80%以上
			農業体験に取り組む小中学校の割合	88.9%	h23	90%以上
		地産地消の推進	学校給食の地場産品数	13品目	h24	15品目
			交流施設（農産物販売施設・体験・交流広場等） の開設箇所数	6	h25	6
			環境保全米の作付け割合	30.4%	h24	70.0%
		食品の廃棄物の発生抑制と 食品リサイクルの推進	学校給食の残食率（小学校）	14.3%	h24	15%以下
	学校給食の残食率（中学校）		17.7%	h24	15%以下	
	食品の安心・ 安全	食品の安全性の情報提供	食品を買うときに、栄養成分表示（カロリー等） を参考にしている人の増加	41.2%	h23	50%以上
			食品の安全安心に関する講習会の受講者数	547名	h24	累計1,000名
	食育運動の推進	食育運動の推進	食育に関心をもっている人の割合の増加			80%以上
			食生活改善推進員がいる行政区の増加	39行政区	h25	45行政区以上
			食生活改善推進員の増加	78名	h25	100名

は、平成26年3月策定の第2次健康たいわ21プランと整合性を取らせていただきます。